

知っておきたい防災の基本

9月1日は防災の日

9月1日は防災の日。台風や豪雨など風水害のリスクが高まる今、命を守る備えが重要です。この特集では、皆さんに準備してもらいたい備えや確認しておきたい情報について紹介します。いざというときに慌てず行動できるよう、災害について考えてみませんか。

写真：令和3年7月豪雨

災害に備える備蓄

防災の基本は、日頃からの備えです。災害に備えた備蓄品と、避難先への持ち出し品を確認しておきましょう。

普段から備蓄するもの

災害時には電気やガス、上下水道などのライフラインが停止したり、物流が滞って物資が不足したりすることが予想されます。3日〜1週間分を目安に、普段から食料や日用品を備蓄しておきましょう。

- 水（1日3L×人数分）
- 食料（缶詰、レトルト食品など）
- 調理用品（カセットコンロ・カセットボンベなど）
- 衛生用品（簡易トイレ、トイレットペーパー、ゴミ袋など）

ローリングストック

食料品や消耗品などは、普段から多めに購入してストックし、日常的に備蓄を使用する「ローリングストック」に取り組むことが効果的です。日常生活で消費しながら備蓄することで、消費期限切れを防ぎ、災害時にも食べ慣れたものを食べることができます。

非常用持ち出し品チェックリスト（一例）

水・食料品

- 飲料水
- 非常食（レトルト食品・チョコなど）

装備・衣類

- ヘルメット
- 懐中電灯
- 軍手
- 雨具（カッパ）
- 衣類・下着
- コンタクトレンズ・眼鏡

貴重品

- 現金・通帳・印鑑
- 身分証明証

衛生用品

- タオル
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 歯ブラシセット
- 石けん
- ポリ袋
- マスク
- 体温計
- 生理用品

救急セット・薬

- 常備薬・処方箋
- 救急セット（ガーゼ・消毒液など）

日用品

- ブランケット
- 筆記用具
- 携帯充電器・モバイルバッテリー
- 携帯ラジオ

その他

- オムツ
- ミルク・離乳食
- 介護用品

※非常用持ち出し品は、一人ずつ必要なものが異なります。家族の人数分を備えておきましょう。



警戒レベル	とるべき行動	避難情報等
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
 警戒レベル4までに必ず避難 		
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	避難行動の確認	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁)
1	災害への心構えを 高める	早期注意情報 (気象庁)

※詳しくは、政府広報オンライン（右2次元コード）をご確認ください。
 ※警戒レベル3は、高齢者だけの情報ではありません。障がいのある人や妊婦、乳幼児、避難を支援する人を含んでいます。



洪水や土砂災害の避難情報は、災害発生時の危険度に応じて、5段階に分けてお知らせします。
 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。警戒レベル4までに、

危険な場所から必ず避難してください。警戒レベル3では、避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、避難しましょう。それ以外の人も避難の準備を始め、危険を感じたら自らの判断で避難してください。

警戒レベルと避難情報

問 防災課 TEL 23・3074

防災情報の取得

2 市からの防災情報

市では、次の方法で避難情報などの防災情報をお知らせしています。

- 市ホームページ、SNS（LINE、Xなど）
- 行政告知放送
電源や音量などを確認しておきましょう。
- やすぎどじょっこテレビ
避難情報のほか、川の水位などの情報を確認することができます。

スマホから登録をお願いします！

Check!



市公式
LINE



Yahoo!
防災速報
(Android)



Yahoo!
防災速報
(iOS)



▲ web ハザードマップ公開中

閲覧は
こちら



避難するときの注意点

1 近所で助け合って

配慮が必要な人の避難に協力し、集団で避難するようにしましょう。



2 動きやすい服装で

持ち物はリュックで、長靴ではなく、運動靴をはいて避難しましょう。



3 車は水に弱い

30cmの冠水でエンジンが止まる恐れがあります。余裕をもって避難しましょう。



どうやって避難するの？

「避難」とは、「難」を避けること。いざというときに備えて、事前に避難方法を考えておきましょう。災害の危険のある場所にいる場合、**避難の基本は安全な場所への「立ち退き避難」**です。

▶ **立ち退き避難**…自宅等を離れて安全な場所まで避難すること

※土砂災害の危険のある区域や河川の氾濫で家屋の倒壊が想定される区域では、立ち退き避難が原則です。ハザードマップで確認しておきましょう。

●市が指定した避難場所

●安全な親戚・知人宅

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。



▶ **屋内安全確保**（垂直避難等）

以下に該当する場合、2階などへの避難も可能です。

①土砂災害や河川の氾濫による倒壊のリスクのある区域ではない

②浸水深より居室が高い

③水・食料などの備えが十分にある



4 島根県水防情報システム

島根県内に設置してある雨量計、水位計、河川監視カメラ、ダム施設からの情報を確認することができます。



◀ 河川監視カメラ

閲覧はこちら



5 安来市水位情報カメラ

市内を流れる河川の水位状況をYouTubeで24時間配信しています。

●田頼川・洞貫川（今後、毎年度1台ずつ増設予定）

YouTube



3 気象庁ホームページ（キキクル）

風水害は、気象情報から事前に予測することが可能です。台風や大雨が近づいたら、積極的に情報を収集し、事前に備えておきましょう。

●気象庁ホームページ

警報や注意報などの警戒情報をはじめ、台風の進路予測などの気象情報がそろっています。

●キキクル（気象庁ホームページ内）

警戒レベルに対応した災害の危険度を地図上でリアルタイムに確認することができます。



閲覧はこちら



▲浸水キキクル（参考画面）

